

農業水利施設で
通水阻害を引き起こす外来種等

早期発見・早期駆除のススメ



水路の水面が見えないほど繁茂したナガエツルノゲイトウ

農業水利施設で通水障害を引き起こす外来種等

近年、農業用排水路、ファームポンド等の農業水利施設において、植物や藻類、貝類等の水生生物が大量増殖することによる、取水・排水の不良、給水栓の詰まりなどの事象及びこれら施設における管理の負担増が多く報告されています。

農林水産省では、農業水利施設において通水障害を引き起こす植物・動物の中から、被害報告が多く特段の注意が必要な15種類(うち外来種14種)について、その生態と見分け方、現時点の知見に基づく対策情報を整理し、「外来種等が農業水利施設に及ぼす影響と対策の手引き」(改訂版)を作成しました。ここでは、その一部を抜粋してご紹介します。

※手引きの本編とその簡易版(パンフレット)については、農林水産省のHPからPDF版をダウンロードいただけます。以下のURLからご覧ください。

(https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/gairai.html)



通水障害の要因となっている外来生物等(15種類)



オオフサモ



ブラジルチドメグサ



オオバナミズキンバイ



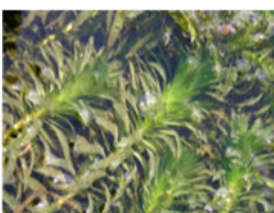
ナガエツルノゲイトウ



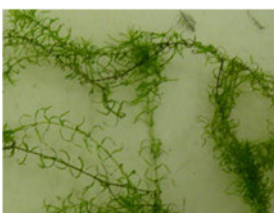
チクゴスズメノヒエ



ミズヒマワリ



オオカナダモ



コカナダモ



外来セキショウモ



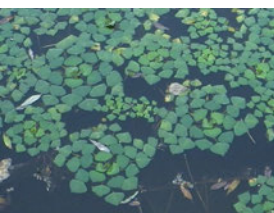
外来アカウキクサ類
(アゾラ)



ホテアオイ



ボタンウキクサ



ヒシ (在来種)



カワヒバリガイ



台湾シジミ種群



・・・ **特定外来生物**：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づいて、飼育・栽培、保管、運搬、譲渡、放出、植栽などの取扱いが規制されている外来生物

農業水利施設における通水阻害事例

ここでは各種農業水利施設における通水阻害の事例をご紹介します。通水阻害の発生は、農業生産に支障をきたすのみならず、施設管理上の負担増に直結します。被害を生じさせないために、通水阻害要因生物の**早期発見・早期駆除**が重要です。

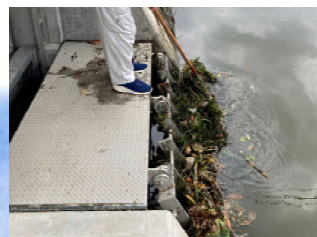
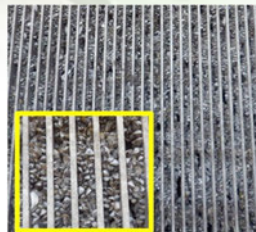
貯水池等

ため池やファーム Pond 等における外来植物の異常繁茂

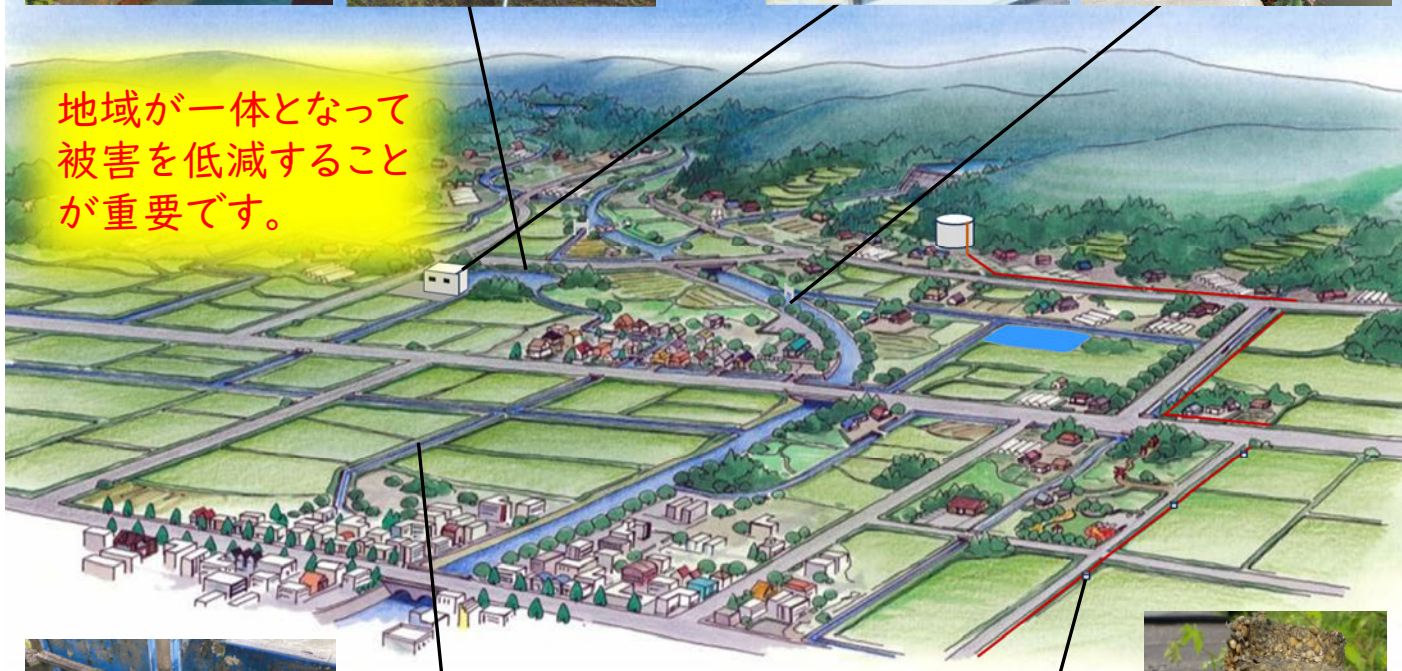


ポンプ場・樋門等

外来植物や貝類によるストレーナーの詰まり、ポンプの緊急停止等



地域が一体となって被害を低減することが重要です。



開水路

外来植物の繁茂による水路の閉塞、溢水、ゲートの開閉障害



管路

カワヒバリガイ、タイワンシジミ種群によるパイプや給水栓の詰まり



次頁より、通水阻害の要因となる外来種等の見分け方や生態、対策事例をご紹介します。